

'76年度カンヌ映画祭出品作品

決して忘れることはないだろう！ぼくの夢と青春を育てた懐しい街グリーンウィッチビレッジ。

そこで出会い、そこで愛しあい、やがてそこから
それぞれの道を求めて別れていった…若者たち！

名作「ハリーとトント」の
鋭才ポール・マザースキーが描く
アメリカ50年代の青春！

レニー・ベイカー
シェリー・ウィンターズ
エレン・グリーン
クリストファー・ウォーケン

グリーンウィッチ ビレッジの青春

《カラー作品》

PAUL MAZURSKY'S NEXT STOP, GREENWICH VILLAGE

製作ポール・マザースキー/トニー・レイ■監督・脚本ポール・マザースキー/撮影アーサー・オーニッツ/音楽ビル・コンティ

FOX映画

★スタッフ

監督 }ポール・マザースキー
脚本 }ポール・マザースキー
製作 }トニー・レイ
撮影アーサー・オーニッツ
音楽ビル・コンティ

★キャスト

ラリー・ラビンズキーレニー・ベーカー
母親シェリー・ウィンタース
セーラエレン・グリーン
アニタロイス・スミス
ロバートクリストファー・ウォーゲン
コニードリ・ブレナー
バーンスタインアントニオ・ファークス
父親マイク・ケリン

〈上映時間＝1時間52分〉



●ベストワン独占の「ハリートント」のマザースキー監督が再び贈る青春映画の名作！

「キネマ旬報」「スクリーン」を始め、本年度のベストテン選出で、第一位に輝いた傑作「ハリートント」のポール・マザースキー監督が、再び贈る名作の訪れです。今回は彼自身の青春を回顧した自伝的な内容で、演劇青年として、一流の俳優をめざしながら多感な青春を送った若者の人生へのたびだちを描き、すべての人に共感を呼ぶ愛と感動の青春映画で、「フェリーのamalコルド」や「アメリカン・グラフィティ」にまさるとも劣らない素晴らしい情感あふれる秀作で、マザースキーはいまアメリカ映画のNo.1監督にクローズアップされており、再度ベストワンを狙う話題作です。

マザースキー自身、「暴力教室」やキューブリックの「恐れと欲望」に俳優として出演した経験がありますが、この映画はニューヨークからハリウッドへ希望に胸ふくらませてたびたび若者の感動的なシーンで終り、シラケ時代のヤングにもきつとこれが青春だ！と熱い感銘を与えることでしょう。

●アメリカのマスコミはこの一作に熱狂の讃辞を捧げカ
ンヌ映画祭に出品決定！

★青春の希望と夢がこれほどユーモアと同情と純粋な手法でとらえられた映画は珍しい。

★これはマザースキーの「amalコルド」だ。すべての登場人物に観客は親近感を寄せるだろう。

★きわめて美しい映画。やさしい、心うつこの映画は「アメリカン・グラフィティ」を思わせる。素晴らしいキャストだ。

★知的で心をうつ。マザースキーは依然として観客を笑わせ泣かせる天才だ。

この映画はことしのカンヌ映画祭にアメリカ映画を代表して出品されます。

●誰もが一度は通る青春の門——芸術を志しグリニッチ
ビレッジに集まった若者たちの愛と友情の感動詩！

ラリー（舞台出身の新人レニー・ベーカー）は、22歳。カレッジを卒業した彼は、ニューヨークのブルックリンから、芸術家の卵たちが集まるグリニッチビレッジに俳優を志して行くことになります。過保護の母（ポセイド

ン・アドベンチャー」の名女優シェリー・ウィンタース）は、息子と別れて暮らすのをさびしがって泣きます。

時は1953年——エリア・カザンがマローン・ブランドを発見し「欲望」という名の電車」を発表した直後で、映画、演劇界には新しい才能が台頭し、熱気と夢があふれていました。ラリーもブランドを夢み、シェイクスピア劇の一節を深夜の駅の構内で演じます。ビレッジの貧しいアパートに住みついた彼は、詩人で脚本を書いているロバートや、画家のバーニー、黒人のバーンスタインなど芸術を志す仲間と親しくなります。

映画は、ラリーとこの仲間たちの「グリニッチビレッジ・グラフィティ」を、笑いと涙で綴って行きます。

アニタ（ロイス・スミス）という厭世家で、仲間たちに電話予告で何度も狂言自殺を図る娘が、ほんとうに死んでしまう悲しいエピソード。

芝居を勉強しながらラリーは、健康食品を売る店でアルバイトしますが、グループの中の一人セーラ（エレン・グリーン）と恋をし、婚前交渉でセーラが妊娠したことから、結婚問題について悩みます。

●やさしい母……美しい恋人……素晴らしい友よ……ありがとう！

息子のことが心配で、ことあるごとにビレッジのアパートを訪ねるラリーの母の母性愛。どこの国でもかわらない人間のやさしいふれあい。そして息子の恋人のことになにかと干渉したがる母親とセーラの衝突も、これから結婚する若い人にとって、なにかと参考になります。この映画はむつかしい理屈や気どった表現ではなく、あるがままの生活をスケッチした映画で、誰にも親しめる世界をユーモアと涙で綴ります。例えばチャップリンのまねをするおかしさ。パーティの乱痴気さわぎ、人情の機微。そしてラリーがフォックスのスクリーン・テストに合格してビレッジを去るラストでは、人間への限りない信頼と愛があふれて思わずあなたを泣かせるでしょう。これは「ハリートント」以上にあなたを陶醉に誘う秀作です。

難攻不落の要塞にグライダーで挑む空の勇者！「ナバ
ロンの要塞」を凌ぐスーパー・アクション巨篇！
スカイライダーズ 近日大公開！！

6月26日(土)よりロードショー！

お得な特別鑑賞券900円(一般1200円 学生1000円)の処 好評発売中

有楽町 日劇前 ニュー東宝 シネマ2 (571) 1947